

発行：伊勢市立伊勢図書館
指定管理者/株式会社図書館流通センター
伊勢市八日市場町13-35 Tel.0596-21-0077
https://iselib.city.ise.mie.jp/

【YA・伊勢図書館】
@iselibYa



X (旧Twitter) やってます！
フォローしてね*

大河ドラマがスタートして、平安時代に関心が集まりつつある昨今。
紫式部といえば『源氏物語』でしょ！
源氏物語って光源氏が女性たちをとっかえひっかえする話でしょ？
まあその通りなんですけど、それだけでもないんですよ！
雅な世界にご案内いたします～☆

作者の紫式部です☆



特集 ～「源氏物語」の世界へようこそ～

そもそも「源氏物語」って何なん？

成り立ち

今から約1千年前の平安時代中期に紫式部が書いた長編小説。
紫式部は夫が亡くなってしまい、悲しい気持ちをなくさめるために物語を書き始めます。
それがだんだん評判になって時の権力者の目にとまり、宮中で女房として働きながら、
支援を受けつつ、物語を作りました。
(※女房については【Voice! 2020年秋号】を見てね☆)

内容

主人公光源氏の誕生から孫の世代まで70年余りの時を書いた54帖(巻)の大長編！！
長い…長いけど恋愛模様だけでなく、当時の政治事情が書かれたり、人生について考えたり。
そんな多面性もあります！
登場人物が多くて個性的だから誰かに感情移入して読んだり、大人になってから読むとまた
違った感想が出てきたり。
奥が深い…！

全部読まなきゃいけないの…？と思ったキミ！
ホントは全部読んでほしいけど、長いから今回は、**おすすめ女君と
おすすめシーン**を紹介するから、面白そう…と思ったら読んでみて！
わかりやすい現代語訳もあるし、漫画もあるし、児童書もあります。
なんと32の言語で翻訳されてるから、世界中で読めるよ☆

主人公☆光源氏☆

生まれた時から光輝く皇子でした。(だから光る君と呼ばれる)
文武両道、芸術の才能もあり、なんでもできるスゴイ人。
でも源の姓を受け、臣下となる。
身分・容姿にかかわらずたくさんの女性を愛し、愛された男。
一度愛した女性は生涯めんどろをみる甲斐性もちのナイスガイ。

名場面！

ははきぎ
「帚木」の巻(光源氏17歳の夏)
「雨夜の品定め」の場面
あまよ

《男が教える、いい妻の選び方》

まだ17歳の光源氏は仲間内で恋愛談義で盛り上がる。

妻にふさわしいのは
「ひねくれたところがなく、まじめで素直な女」
「話し相手になり、主婦として頼りになる女」

体験談で話す妻とすべきではなかった女性
・可憐だが、子どもを連れて失踪する「頼りない女」
・賢妻だが、浮気した夫の指に噛みつく「嫉妬深い女」
・美人で風流好みだが、「移り気な女」
・学識が高く頼もしいが、にんにくの匂いが漂う「臭い女」

聞き役の光源氏は、中流の女性に個性的で面白い人がいるという話を聞いて興味を持つ。



青海波を舞うイケメン…？の巻



もみじの「紅葉賀」の巻より

折から西に傾く
日の光があざやかに
射してきて...
詠(えい) (舞人が舞いながら
詩句を字音のままうたい
上げるもの) などなされる
お声は...
これこそ仏の御国の迦陵頻伽
(極楽浄土に棲む声音絶妙の鳥)の
お声であるうかと...

当時は、ひとりの男性が多くの女性と結婚
できました。
夫は正妻と一緒に住み、他の妻は別の所
に住んでいる、いわゆる「通い婚」でした。

上流階級の女性たちの堅苦しさに飽きて
中流の女性に近づいていく...
光源氏の恋愛遍歴の始まり。



光源氏をとりまく女君たち

恋愛模様に関しては、いっぱい出てくる女性たちはみんなイケメンの光源氏のとりこに…♡
という訳でもなく、めっちゃキョヒられたり、叶わぬ恋に身を焦がしたり、裏切られたりと波乱万丈！

一番愛された女君

紫の上 (むらさきのうえ)

子どもの頃、藤壺の宮にそっくりだったため身代わりとして引き取られ、育てられる。
多くの妻の中で一番大事にされるが、自分より身分が上の女性たちの登場に不安になることも多かった。

好きになることすら罪…帝（父親）の妻

藤壺の宮 (ふじつぼのみや)

光源氏の亡き母君にそっくりなため、光源氏から憧れを通り越した恋心を向けられる。
光源氏と密通し、その子どもが生まれるが、帝の子として育てられることに苦悩し、出家してしまう。

物語のキーパーソン！？

六条御息所 (ろくじょうのみやすどころ)

高貴な身分の美しい女君。
しかしそのプライドの高さから、光源氏に距離を置かれるようになる。
光源氏に想い焦がれ無意識に生霊となり光源氏の正妻・葵の上をはじめ、光源氏の恋人たちを苦しめる。

気がのらない婚姻からの裏切り…

女三の宮 (おんなさんのみや)

政略結婚させられた皇女。
あまりの幼稚さに紫の上の素晴らしさと比べられてしまう。
他所の男に一方的に想われ、無理やり密通、その男の子どもができてしまい、光源氏の子として育てることに。

最後まで光源氏になびかなかった

空蝉 (うつせみ)

「雨夜の品定め」で登場する、いわゆる「中流」の人妻。
一度関係を持つが、自分は光源氏にはふさわしくないとそっけない態度をとって想いを隠す。

他にも魅力的な女性たちがたくさん登場しますよ～。
あなたはどの女君が好き？

超!有名な冒頭シーン!

いづれの御時にか、女御、更衣あまたさぶらひたまひける中に、いとやむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めきたまふありけり。はじめより我はと思ひあがりたまへる御方々、めざましきものにおとしめそねみたまふ。同じほど、それより下臈の更衣たちはましてやすからず。

〈現代語訳〉
どの帝の御代だったか、女御や更衣が大勢お仕えになっていた中に、まことに高貴な身分というのではない方で、格別に寵愛をお受けになっておられる方がいた。初めから自分こそはと自負していらした女御の方たちは、目障りなものに卑しめて嫉妬なされる。同じくらいの身分、それより格下の更衣たちは、一層内心穏やかでない。

きりつぼ
「桐壺」の巻



ここはぜひ、原文で！
テストに出る(かもしれない)よ！

源氏物語特集、いかがでしたか？
ドラマもいいけど、関連図書もいっぱいあるので図書館でもぜひ探して読んでみてね♪

【参考文献】

- 『源氏物語入門』高木和子／著 岩波書店 (913/夕)
- 『源氏物語解剖図鑑』佐藤晃子／文 伊藤ハムスター／イラスト エクスナレッジ (913.36/サ)
- 『源氏物語光源氏と女たちの王朝絵巻』円地文子／著 世界文化社 (913.36/ム)
- 『紫式部と源氏物語』川村裕子／監修 ほるぷ出版 (913/ム)
- 『源氏物語絵巻54帖 上・下』小嶋菜温子／監修 宝島社 (721.2/ゲ/1・2)
- 『日本文学全集：04～06 源氏物語上・中・下』池澤夏樹／個人編集 角田光代／訳 河出書房新社 (918/二/4～6)
- 『日本の古典をよむ：9 源氏物語：上』小学館 (918/二/9)
- 『あさきゆめみし①～⑦』大和和紀／著 講談社 (726.1/ヤ/1～7) ※漫画
- 『あさきゆめみし①～⑤』大和和紀／原作・絵 時海結以／文 講談社 (913/ト/1～5) ※青い鳥文庫